

事業番号	事務事業名	宮島訪問税導入事業				所管課名	経営企画部宮島企画調整課		所属長名	佐々木 正臣		
	方向性	3	資源を活かす			係・グループ名	宮島まちづくり推進係					
	重点施策	4	観光ブランド力の向上を図る			根拠法令等	地方税法、宮島訪問税条例					
	施策方針	1	地域資源の磨き上げと受け入れ環境の充実			基本事業						
予算科目	会計	01	款	02	項	01	目	06	事業1	事業2	経・臨	予算上の事業名
	一般会計		総務費		総務管理費		企画費		015	53	臨	宮島訪問税導入事業(政策)

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R1 年度 ~ R5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	【全体】宮島への外部からの来訪によって発生・増幅する行政需要に対応するための安定した財源を確保するため、宮島訪問税を導入する。 【令和4年度】徴収開始に向けた準備 ・宮島生活航路運航事業者(JR西日本宮島フェリー、宮島松大汽船)と共同調達する券売機、自動改札機等の運賃・訪問税徴収システムの開発・構築 ・宮島口旅客ターミナル改札建屋等の設置工事 外	・過去2度、宮島における法定外税導入を検討したが課題があり導入に至らず。 ・人口減少、少子高齢化の進行に伴い財政状況が厳しくなる中で、宮島への来訪者の受け入れ環境の整備に対応するため安定した財源である法定外税を再検討。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容	活動指標(活動の規模)	単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
・生活航路運航事業者と共同調達する券売機、自動改札機等の運賃・訪問税徴収システムの開発・構築 ・生活航路運航事業者、受注業者との打合せ	→ ア 運賃・訪問税徴収システムの開発		目標 実績	- -	開発 完了	- -	- -	- -
	→ イ 運賃・訪問税徴収システムの構築		目標 実績	- -	- -	構築 完了	- -	- -
	→ ウ		目標 実績	- -	- -	- -	- -	- -
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の規模)	単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
・券売機、自動改札機等の運賃・訪問税徴収システム ・宮島生活航路運航事業者(JR西日本宮島フェリー・宮島松大汽船)	→ ア 生活航路運航事業者数	社	見込 実績	2 2	2 2	2 2	- -	- -
	→ イ		見込 実績	- -	- -	- -	- -	- -
	→ ウ		見込 実績	- -	- -	- -	- -	- -
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
・宮島生活航路運航事業者が納得した徴収システムの開発・構築 ・宮島生活航路運航事業者が円滑に特別徴収を行える改札建屋の設置・改修	→ ア 新システムでの運賃の収受・宮島訪問税の特別徴収		目標 実績	- -	- -	開始 完了	- -	- -
	→ イ 宮島口旅客ターミナル改札建屋等の設置・改修工事		目標 実績	- -	実施設計 完了	工事 完了	- -	- -
	→ ウ		目標 実績	- -	- -	- -	- -	- -
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策の成果指標	単位	区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
・宮島口・宮島への受入環境の充実 ・円滑な特別徴収の実現	→ ア 総観光客数(宮島地域)	万人	目標 実績	- 199	- 379	- 471	- -	- -
	→ イ 新システムでの運賃の収受・宮島訪問税の特別徴収		目標 実績	- -	- -	開始 完了	- -	- -

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	前年度比	令和6年度(予算)
事業費(A) (円)	3,707,012	8,968,250	131,275,591	192,762,858	61,487,267	0
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他特財				0	
	一般財源	3,707,012	8,968,250	131,275,591	192,762,858	61,487,267
業務延べ時間 (時間)	5,694	6,825	10,000	10,000	0	
人件費(B) (円)	24,552,000	29,964,000	42,655,000	43,682,000	1,027,000	0
トータルコスト(A+B)	28,259,012	38,932,250	173,930,591	236,444,858	62,514,267	
主な支出項目		令和5年度(決算)			備考	
宮島口旅客ターミナル券所改修工事		26,274,600 円				
宮島口旅客ターミナル改札建屋等設置工事		22,641,300 円				
生活航路運航事業者特別徴収機器等整備費補助金		100,564,166 円				
宮島訪問税課税対象外証明書及び年払い証明書発行機構構築業務ほか		30,273,267 円				

事業番号	事務事業名	宮島訪問税導入事業	所管課名	経営企画部宮島企画調整課
------	-------	-----------	------	--------------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
宮島への来島者が過去最高から新型コロナウイルス感染症により、来島者が激減した。令和4年度後半から来島者が急激に回復しつつあり、オーバーツーリズムの懸念もある。	・宮島訪問税の導入、制度設計 ・効率的な特別徴収、スムーズな動線の確保 ・宮島訪問税徴収開始の周知、広報 ・持続可能な観光地域づくりの機運醸成	・宮島訪問税の用途の明確化 ・円滑に税徴収が行えるような周知 ・非課税など制度の見直し

5 事業評価(令和 5 年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	宮島への外部からの来訪によって発生・増幅する行政需要に対応するための安定した財源を確保するための事業であり、宮島訪問税は宮島の受入環境整備に充当する。
	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	宮島訪問税徴収開始に向けて、課税庁である市が導入、推進する必要がある。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	宮島訪問税の円滑な特別徴収の実現に向けた対象、意図を設定し、準備に期間を要する生活航路運航事業者との調整を優先して進めた。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	宮島訪問税徴収開始までに改札建屋等の設置工事、徴収システムの構築を完了できた。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	公に周知した、宮島訪問税の徴収開始日(令和5年10月1日)に間に合わせるため事業を推進した。
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	宮島訪問税の準備期間は、類似事業のない臨時的事業として取り組んだ。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	実施事業は、生活航路運航事業者と協議して仕様を確定させ、宮島口旅客ターミナル改札建屋等設置工事は、港湾施設上の制約等もあり、見直しはできない。また、駅務機器の開発・構築については生活航路運航事業者が国庫補助も活用した。
公平性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	関係者が多い中で、手戻りにならないよう、協議を重ねて事業を推進した。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	準備段階における事業者の宮島訪問税に係る負担に対しては公平な支援を行った。

6 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠	
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り	宮島訪問税の徴収を開始し、受入環境を充実させるという成果に向けて、関係者と連携を行いながら準備を進めることができ、遅滞なく徴収を開始した。 また、現在まで特に大きな混乱なく徴収されている。	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地有り		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地有り		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り		
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④改革改善案による成果・コストの期待効果	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了		今後の改革改善案 	
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		(廃止・休止、完了の場合は記入不要)	

事業番号	事務事業名	宮島口旅客ターミナル運営事業				所管課名	産業部観光課	所属長名	山田 実
	方向性	3	資源を活かす			係・グループ名	観光振興係		
	重点施策	4	観光ブランド力の向上を図る			根拠法令等	-		
	施策方針	1	地域資源の磨き上げと受け入れ環境の充実			基本事業	-		
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	03	事業1 事業2 経 臨
	一般会計		商工費		商工費		観光費	002 51	経
									予算上の事業名
									観光誘客強化事業(政策)

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	宮島の玄関口として、また、観光交流拠点として、誘客強化・おもてなし向上を図るため、宮島口旅客ターミナル施設の付加機能部(観光案内・物販・情報発信・にぎわいづくり)の運営業務を委託実施している。	令和2年宮島口旅客ターミナルの完成に合わせて、宮島への玄関口として観光客へのおもてなし対応、情報発信やにぎわいづくりを推進するため

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容 宮島口旅客ターミナル施設(付加機能部)運営業務	活動指標(活動の規模) 単位: 件 区分: 件 3年度: 1,800(目標), 1,489(実績) 4年度: 2,083(目標), 2,311(実績) 5年度: 2,500(目標), 3,460(実績) 6年度: 2,917(目標) 7年度: 3,600(目標)
対象(誰、何を対象にしているのか) 観光客	対象指標(対象の規模) 単位: 万人 区分: 見込, 実績 3年度: 400(見込), 329(実績) 4年度: 600(見込), 537(実績) 5年度: 700(見込), 803(実績) 6年度: 770(見込) 7年度: 874(見込)
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 各種情報媒体を活用し、的確な観光情報を収集し、多くの観光コンテンツを体験・体験できる	成果指標(意図の達成度) 単位: 万人 区分: 目標, 実績 3年度: 256(目標), 129(実績) 4年度: 258(目標), 157(実績) 5年度: 260(目標), 204(実績) 6年度: 262(目標) 7年度: 264(目標) 3年度: - (目標), 200(実績) 4年度: 342(目標), 380(実績) 5年度: 440(目標), 599(実績) 6年度: 508(目標) 7年度: 610(目標)
結果(結びつく施策の意図は何か) 宿泊観光客数が伸び、一人当たり消費額が増える	施策の成果指標 単位: 万人 区分: 目標, 実績 3年度: 65(目標), 32(実績) 4年度: 66(目標), 46(実績) 5年度: 67(目標), 76(実績) 6年度: 67(目標) 7年度: 70(目標) 3年度: 3,900(目標), 3,869(実績) 4年度: 3,900(目標), 4,094(実績) 5年度: 4,000(目標), 4,300(実績) 6年度: 4,000(目標) 7年度: 4,000(目標)

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	前年度比	令和6年度(予算)
事業費(A) (円)	49,000,000	49,000,000	49,000,000	49,000,000	0	50,320,000
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他特財				0	
	一般財源	49,000,000	49,000,000	49,000,000	49,000,000	0
業務延べ時間 (時間)	190	190	190	190	0	
人件費(B) (円)	818,000	833,000	809,000	834,000	25,000	0
トータルコスト(A+B)	49,818,000	49,833,000	49,809,000	49,834,000	25,000	50,320,000
主な支出項目		令和5年度(決算)			備考	
宮島口旅客ターミナル施設(付加機能部)運営業務委託料		49,000,000 円				
		円				
		円				
		円				

事業番号	事務事業名	宮島口旅客ターミナル運営事業	所管課名	産業部観光課
------	-------	----------------	------	--------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
開始時期は、新型コロナウイルス感染症により観光客数が激減していたが、現在は、感染症が5類に下がり、またG7広島サミットにより注目を集めたことから、観光客数が回復している。	観光客の動向や各種イベント実施等に合わせ、随時、委託先である(一社)はつかいち観光協会と連携・調整等を実施している。	イベント実施によるにぎわいの創出など、概ね満足が得られている。

5 事業評価(令和 5 年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	宮島と市内各地域をつなぎ、集客と経済効果を高めることに結びついている。
	② 市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	宮島口旅客ターミナルは広島県の港湾施設を市が管理委託を受けているものであり、市が関与すべきである。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	宮島と宮島以外の各地域への誘客により市域全体の経済活性化につながる。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	はつこいマーケットでの地域産品の販売や、多目的スペース等でのイベント開催、情報センターの展示企画により、市内特産品や宮島への観光客に宮島以外のエリアの魅力を知ってもらえる機会を提供できているが、観光客の動向に応じた対応により注力することで、成果の向上に繋がる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	宮島の玄関口として、フェリー渡航前での情報発信やおもてなしとしてのにぎわいづくりは必要である。	
⑥ 類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	類似事業はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	G7広島サミットなど宮島が大きく注目されており、来島者が増えているなかで、市の魅力を発信し、市内特産品や宮島への観光客に宮島以外のエリアの魅力を知ってもらえる機会を提供するため、必要な事業費である。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	(一社)はつかいち観光協会に委託している。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	市域全体の観光誘客の促進、経済活性化につながる。

6 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り	G7サミットや円安効果により来島者が増えるなかで、宮島口の玄関口、観光交流拠点として、市の魅力の発信やにぎわいづくりができています。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地有り																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 改革改善案による成果・コストの期待効果																							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了	今後の改革改善案 運営開始から4年経過し、コロナ禍が明け、1年を通して通常運転となり、今後、現状把握・検証等を行い、市内特産品販売や情報発信をより充実させていくとともに、効率的な成果向上や効果的な運営方法等の見直しを図る。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△		低下			×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			△																					
	低下			×																					
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
観光情報・データ収集、分析等による、観光客等のニーズ把握、これに伴う効果的な施策・事業実施に係る取組の研究・検討		(廃止・休止、完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	包ヶ浦自然公園管理事業			所管課名	産業部観光課	所属長名	山田実				
	方向性	3	資源を活かす			係・グループ名	観光施設係					
	重点施策	4	観光ブランド力の向上を図る			根拠法令等	廿日市市宮島包ヶ浦自然公園設置及び管理条例					
	施策方針	1	地域資源の磨き上げと受け入れ環境の充実			基本事業						
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	05	事業1	事業2	経・臨	予算上の事業名
	一般会計		商工費		商工費		自然公園費		007	01	経	包ヶ浦自然公園管理事業

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R1 年度 ~ R5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(1)所在地:広島県廿日市市宮島町1195番地 (2)面積:敷地面積 129,248.26㎡、延床面積 4,573.46㎡ (3)施設内容:管理センター、家族用ケビン、団体用ケビン、炊事棟、キャンプ場(瀬戸内海国立公園包ヶ浦野営場)、ビーチハウス、ケビンハウス、テニスコート、海水浴場、運動広場(グラウンド)など (4)運営方法:指定管理	昭和32年に自然公園法における集団施設地区の指定を受け、昭和54年から積極的な施設整備が行われている。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容 ・ケビン等の宿泊施設の管理運営 ・海水浴場の管理運営 ・施設の修繕、指定管理者との連絡調整	活動指標(活動の規模) 単位:千円 区分:ア 維持管理経費 区分:イ 区分:ウ	3年度 66,021 44,742 4年度 66,021 63,944 5年度 66,021 99,237 6年度 7年度
対象(誰、何を対象にしているのか) 施設利用者	対象指標(対象の規模) 単位:人 区分:ア 宿泊者数(ケビン) 区分:イ 宿泊者数(キャンプ場) 区分:ウ グラウンド・海岸等利用者数	3年度 10,675 3,013 3,600 2,732 16,000 9,656 4年度 10,675 3,423 3,600 2,276 16,000 13,789 5年度 8,570 14,855 2,890 1,685 12,845 14,224 6年度 7年度
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 顧客満足度の向上	成果指標(意図の達成度) 単位:% 区分:ア 稼働率(家族用ケビン) 区分:イ 稼働率(Bケビン) 区分:ウ 稼働率(団体ケビン)	3年度 11 6.5 11 6.6 11 1.6 4年度 11 7.1 11 9.9 11 1.6 5年度 12 13.0 12 17.7 12 10.5 6年度 7年度
結果(結びつく施策の意図は何か) 宿泊観光客数が伸び、一人当たり消費額が増える。	施策の成果指標 単位:万人 区分:ア 市内宿泊観光客数 区分:イ 観光客一人当たり消費額(観光消費額/観光客数)	3年度 65 32 3,900 3,896 4年度 66 46 3,900 4,094 5年度 67 76 4,000 4,300 6年度 67 4,000 7年度 70 4,000

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	前年度比	令和6年度(予算)	
事業費(A) (円)	24,397,089	32,259,178	22,238,152	13,592,198	-8,645,954	64,624,000	
財源内訳	国庫支出金			675,000	675,000	13,402,000	
	県支出金	395,000	395,000	1,594,280	395,000	2,400,000	
	市債				0		
	その他特財	231,633	225,040	168,069	2,642,648	2,474,579	35,000
	一般財源	23,770,456	31,639,138	20,475,803	9,879,550	-10,596,253	48,787,000
業務延べ時間 (時間)	780	780	780	780	0		
人件費(B) (円)	3,363,000	3,424,000	3,327,000	3,407,000	80,000	0	
トータルコスト(A+B)	27,760,089	35,683,178	25,565,152	16,999,198	-8,565,954	64,624,000	

主な支出項目	令和5年度(決算)	備考
指定管理委託料	8,148,148 円	
上質な宿泊施設を宮島包ヶ浦自然公園に誘致することによる効果検討業務委託料	907,500 円	
包ヶ浦棧橋管理棟解体工事実施設計業務委託料	1,485,000 円	
	円	

事業番号	事務事業名	包ヶ浦自然公園管理事業	所管課名	産業部観光課
------	-------	-------------	------	--------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
宮島包ヶ浦自然公園の利用者は、令和元年度と比べて減少に転じている状況である。 インバウンド需要が増大する現代において、経済の成長や持続的な発展を図る上で、宿泊施設等の高付加価値化の促進が注目されている。	令和3年度に観光庁が実施した「上質な宿泊施設の開発促進事業」に宮島包ヶ浦自然公園が採択された。 そのため、令和4年度は、指定管理が満了する令和5年度末を目前に上質な宿泊施設の誘致の取組を行った。 令和5年度中に公募に至らず、令和6年度は今後の利活用について協議するため、市と宮島の代表者などで構成する「宮島包ヶ浦自然公園利活用検討協議会」を設置した。	自然環境の保全や既存施設の存続など、今後の自然公園の利活用方法について多様な意見が上がっている。

5 事業評価(令和5年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明	目的に対して、施策は適当である。
	②市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)		
有効性 評価	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由説明	民間活力の導入により利用者数の改善が図れると思われるため、市が関与する必要性は低い。
	③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明	今後の利活用案により、現在の対象や意図の方向性が変わる可能性がある。
効率性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明	民間活力の導入によって、成果の向上が見込まれる。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
公平性 評価	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	理由説明	公共エリアを設け、これまで通り自然に親しむ場の提供などを行う予定である。
	⑥類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明	宮島島内には複数の民間宿泊施設がある。また、キャンプ施設は市内に包ヶ浦の他に4か所ある。
公平性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	令和5年度は指定管理により削減余地はない、民間活力導入以降は市の管理エリアが縮小するなど削減余地がある。
公平性 評価	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	民間活力の導入
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明	施設利用にあたり公平・公正に予約受付や利用料金が発生し、公平・公正となっている。

6 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																		
A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地有り	宮島包ヶ浦自然公園の利用者は依然として減少に転じている状況であり、指定管理については令和6年3月31日の休園を以て廃止とした。今後、利活用の在り方について、地域の幅広い意見を適切に汲み取り、検討していく必要がある。																		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り																			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り																			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り																			
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④改革改善案による成果・コストの期待効果																		
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了	今後の改革改善案 今後の利活用の在り方について、地域の幅広い意見を適切に汲み取り検討していく必要がある。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td colspan="2" rowspan="2">検討</td> </tr> <tr> <td>維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上	検討		維持		低下		
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	検討																		
	維持																			
	低下																			
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		(廃止・休止、完了の場合は記入不要)																		
市と宮島の代表者などで構成する「宮島包ヶ浦自然公園利活用検討協議会」にて、地域の幅広い意見を汲み取り、慎重に進めていく。																				

事業番号	事務事業名	宮島水族館広報宣伝・営業事業			所管課名	産業部宮島水族館企画室	所属長名	北岡 裕二				
	方向性	3	資源を活かす			係・グループ名						
	重点施策	4	観光ブランド力の向上を図る			根拠法令等						
	施策方針	1	地域資源の磨き上げと受け入れ環境の充実			基本事業						
予算科目	会計	45	款	01	項	01	目	01	事業1	事業2	経・臨	予算上の事業名
	宮島水族館事業特別会計		水族館事業費	水族館事業費	一般管理費			003	01	経	水族館一般管理事業	

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・各種メディア、SNSを使った広報宣伝 ・ホームページ更新管理 ・各種PR活動、PRツールの制作 ・イベント企画提案 ・団体、修学旅行誘致 ・旅行パンフレットへの掲載	宮島水族館の魅力を国内外に発信し、水族館に訪れたいくなるような印象的、魅力的な企画やイベントの実施、効果的な営業活動を行い、目標としている年間入館者数50万人以上を達成するため、平成29年度に公募型プロポーザルを実施した。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容 広報宣伝・営業	活動指標(活動の規模) → ア テレビスポットCM → イ 宮島桟橋でのチラシ配布 → ウ 学校訪問等の営業日数	単位 期 回 回	区分 目標 実績 目標 実績 目標 実績	3年度 4年度 5年度 6年度 7年度	4 4 4 4 4 2 2 3 35 35 35 35 35 0 0 0 45 45 45 45 45 5 6 3
対象(誰、何を対象にしているのか) 観光客	対象指標(対象の規模) → ア 宮島への来島者数 → イ → ウ	単位 万人	区分 見込 実績 見込 実績 見込 実績	3年度 4年度 5年度 6年度 7年度	430 430 430 430 430 196 345 471
意図(対象をどのような状態にしたいのか) ・来館を促進する ・入館者数50万人以上の達成	成果指標(意図の達成度) → ア 宮島への来島者のうち水族館に入館する人の割合 → イ 入館者数 → ウ	単位 % 千人	区分 目標 実績 目標 実績 目標 実績	3年度 4年度 5年度 6年度 7年度	12 12 12 12 12 14 14 11 516 516 516 516 516 273 471 511
結果(結びつく施策の意図は何か) 宿泊観光客数が伸び、一人当たり消費額が増える	施策の成果指標 → ア 観光客一人当たり消費額(観光消費額/観光客数) → イ	単位 円	区分 目標 実績 目標 実績	3年度 4年度 5年度 6年度 7年度	3,900 3,900 4,000 4,000 4,000 3,869 4,094 4,300

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	前年度比	令和6年度(予算)	
事業費(A) (円)	38,000,000	50,000,000	33,000,000	30,000,000	-3,000,000	33,676,750	
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	市債				0		
	その他特財	38,000,000	50,000,000	33,000,000	30,000,000	-3,000,000	33,676,750
	一般財源	0	0	0	0	0	0
業務延べ時間(時間)	180	240	160	145	-15		
人件費(B) (円)	776,000	1,053,000	682,000	633,000	-49,000	0	
トータルコスト(A+B)	38,776,000	51,053,000	33,682,000	30,633,000	-3,049,000	33,676,750	
主な支出項目		令和5年度(決算)			備考		
広報宣伝・営業業務委託料		30,000,000 円					
		円					
		円					
		円					

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。
宮島への来島者は、新型コロナの影響で令和2年度及び令和3年度は落ち込んだが、令和4年度からは回復基調となり、外国人観光客も増加している。メディアに関しては、テレビ中心ではあるが、WebやSNSなどのデジタルメディアへの接触時間が伸びている。	近年は、テレビCMに加えフェイスブック、インスタグラムなどのSNSによる情報発信を行っている。令和4年度及び令和5年度は、それらに加えデジタル広告(YouTube、見逃し配信サイト)を使用した情報発信を行った。	「5G」の普及によりデジタルメディアへの接触時間は、今後さらに伸びていくことが予想される。

5 事業評価(令和 5 年度決算の評価)

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明	集客力と滞在時間の延長など市全域の観光振興と地域経済の活性化に寄与できている。
	② 市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せるとはできないか。)		
有効性評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明	宮島の西地域の観光拠点としての役割を果たすとともに、滞在時間の延長を図るなど、市の観光振興に貢献する施設であるためには必要な事業である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明	対象は観光客、意図は来館促進で妥当である。
効率性評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明	宮島への来島者に対し、水族館の存在や展示内容、各種イベント等を周知する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
公平性評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明	宮島水族館の魅力を国内外に発信するにはこの事業以外にない。
	⑥ 類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明	テレビやWeb、SNSなどのメディアを活用し、広告時期を連携させるなどして効果的な広報宣伝を行っている。
公平性評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	効果の上がるメディアを選択し、来館者が増えるタイミングを狙い集中的に投資している。
公平性評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	専門的な知識が必要であり、成果水準確保のため広告代理店への委託で実施している。人件費の削減余地はない。
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明	不特定多数に向けた広報であり、公平である。

6 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り	宮島水族館の魅力を国内外に発信し、水族館を訪れたいくなるような印象的、魅力的な企画イベントの実施、並びに効果的な営業活動を行い、年間入館者数50万人以上を維持するため、引き続き専門的知識を有する民間事業者へ委託する。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地有り																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地有り																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 改革改善案による成果・コストの期待効果																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了	今後の改革改善案 観光客の動向などを注視し、適切なPR戦略の元、効果的な広報を行う。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
観光客の生の声をどのようにして把握していくか。		(廃止・休止、完了の場合は記入不要)																							